

## 福祉サービス第三者評価結果報告書【平成31年度(2019年度)】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財团理事長 殿

〒 202-0021

所在地 東京都西東京市東伏見3-5-36-101

評価機関名 有限会社 TCP



認証評価機関番号

電話番号 042-452-8021

代表者氏名 鈴木 純平

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

	評価者氏名	担当分野	修了者番号
①	小野瀬 清江	福祉	H0305059
②	乙川 恵美	福祉	H0702020
③	鈴木 純平	経営	H0701017
④			
⑤			
⑥			
福祉サービス種別 認可保育所			
評価対象事業所名称 社会福祉法人 愛隣会 のぞみ保育園			
事業所連絡先 〒 153-0044 所在地 東京都目黒区大橋2-19-1 TEL 03-3466-0269			
事業所代表者氏名 北村 衛也			
契約日	2019年 5月 22日		
利用者調査票配付日(実施日)	2019年 8月 26日		
利用者調査結果報告日	2019年 11月 17日		
自己評価の調査票配付日	2019年 8月 26日		
自己評価結果報告日	2019年 11月 17日		
訪問調査日	2019年 11月 21日		
評価合議日	2019年 12月 10日		
事前説明には、評価の理解を深めて頂く為、評価の全体像や具体例を用いた判りやすい資料を作成しました。事業評価においては、自己評価の事業確認に従事する第三者性の担保に配慮しました。また、利用者調査および事業評価の集計結果には、独自開発による集計シートを用い、グラフ・表によるできるかぎりわかりやすくまとめを行いました。			
<b>コメント</b> (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、  
 機構が定める部分を公表することに同意します。  
 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。  
 別添の理由書により、公表には同意しません。

2020年 2月 10日

印

事業者代表者氏名 社会福祉法人 のぞみ保育園  
園長 北村 衛也

印

1/26

1 理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）	2 期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
<p>事業者が大切にしている考え方(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なものの(上位5つ程度)を簡潔に記述  <b>(関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)</b></p> <p>1)すべての人に心を尽くして支援します。      2)子どもの幸せを第一に考え、保護者により良い協力関係を築きながら、子どもの育ちを支えます。      3)子どもや保護者の思いや気持ちを受けとめます。      4)職員同士よく話し合い、園全体で子どもの育ちを支えます。      5)いろいろな体験を通して、子どもの良いところを伸ばす保育を目指します。</p>	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常に課題意識を持ち、サービスの向上に取り組む</li> <li>・常に学ぶ姿勢を持ち、スキルアップに取り組む</li> <li>・利用者の思いを受け止め、利用者の立場で理解しようとするとする</li> <li>・チームメンバーへや他部門、他機関と連携し、チームで役割分担をして業務を遂行する</li> </ul> <p>(2)職員に期待すること(職員に持つて欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理念の実践に取り組む</li> <li>・専門職としての誇りと責任を持つ</li> <li>・全体を見て判断する</li> </ul>

調査対象は、在園児の保護者全員を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答のご回答をいただきました。なお、利用者総数（78名）に対して、世帯数は66世帯となっています。

## 調査対象

## 調査方法

## 利用者総数

利用者家族総数（世帯）	78
共通評価項目による調査対象者数	66
共通評価項目による調査の有効回答者数	66
利用者家族総数に対する回答者割合（%）	42
	63.6

## 利用者調査全体のコメント

「現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じいらっしゃいますか」との質問に対して、「大変満足」81.0%、「満足」19.0%、を全て足すと100.0%の回答率となる。個別の項目についても「はい」と回答している結果が多く、満足している状況がうかがえました。特に、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」、「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」、「子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係はあるか」などは、「はい」の回答率が100.0%と満足度が高い結果でした。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数					
		はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	42	0	0	0	0	
この項目では、42人が「はい」と答え、全体の100.0%を占め、全ての回答者どなっていました。また、自由記入の結果では、自分で発想もつかない遊び方で色々遊んでくれ、子どもの目が毎日キラキラしているなどの声が聞かれました。						
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持つて行えるようになつているか	42	0	0	0	0	
この項目では、42人が「はい」と答え、全体の100.0%を占め、全ての回答者どなっていました。また、自由記入の結果では、他学年との交流があり、非常に良いなどの声が聞かれました。						
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	39	2	1	1	0	
この項目では、39人が「はい」と答え、全体の92.9%を占め、「どちらともいえない」が4.8%、「いいえ」が24%という結果でした。また、自由記入の結果では、園では旬の食材を工夫して出してくれて感謝しているなどの声が聞かれました。						

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	39	2	1	0	
この項目では、39人が「はい」と答え、全体の92.9%を占め、「どちらともいえない」が4.8%、「いいえ」が2.4%という結果でした。また、自由記入の結果では、夏祭りなどでも良いなどの声が聞かれました。					
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	38	0	0	4	
この項目では、38人が「はい」と答え、全体の90.5%を占め、「どちらともいえない」が0.0%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、記述がなく、特に傾向は見られませんでした。					
6. 安全対策が十分取られていると思うか	33	8	1	0	
この項目では、33人が「はい」と答え、全体の78.6%を占め、「どちらともいえない」が19.0%、「いいえ」が2.4%という結果でした。また、自由記入の結果では、いつも気をつけて下さり、安心していきますなどの声が聞かれました。					
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	38	4	0	0	
この項目では、38人が「はい」と答え、全体の90.5%を占め、「どちらともいえない」が9.5%、「いいえ」が0.0%といいう結果でした。また、自由記入の結果では、年間行事予定表が組み込まれており、変更もないのでも予定が立てやすいくなどの声が聞かれました。					
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	42	0	0	0	
この項目では、42人が「はい」と答え、全体の100.0%を占め、全ての回答者どなっていました。また、自由記入の結果では、成長に伴い悩みが出てくると相談させてもらっているなどの声が聞かれました。					
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	39	3	0	0	
この項目では、39人が「はい」と答え、全体の92.9%を占め、「どちらともいえない」が7.1%、「いいえ」が0.0%といいう結果でした。また、自由記入の結果では、ほぼ綺麗ですが、教室に子どもたちの遊んだ折り紙のくずなどが散らばり汚れている時があるなどの声が聞かれました。					
10. 職員の接遇・態度は適切か	40	1	1	0	
この項目では、40人が「はい」と答え、全体の95.2%を占め、「どちらともいえない」が2.4%、「いいえ」が2.4%といいう結果でした。また、自由記入の結果では、良かったですなどの声が聞かれました。					

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	39	2	1	0	0
この項目では、39人が「はい」と答え、全体の92.9%を占め、「どちらともいえない」が4.8%、「いいえ」が2.4%という結果でした。また、自由記入の結果では、一度も不安に思った事はないなどの声が聞かれました。					
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	32	7	0	3	0
この項目では、32人が「はい」と答え、全体の76.2%を占め、「どちらともいえない」が16.7%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、あまり聞かないでのわからぬなどの声が聞かれました。					
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	39	3	0	0	0
この項目では、39人が「はい」と答え、全体の97.9%を占め、「どちらともいえない」が7.1%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、全先生が全員の子どもの名前を覚えて下さっており安心しますなどの声が聞かれました。					
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	36	3	0	0	3
この項目では、36人が「はい」と答え、全体の85.7%を占め、「どちらともいえない」が7.1%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、そのような状況にまだないなどの声が聞かれました。					
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	40	2	0	0	0
この項目では、40人が「はい」と答え、全体の95.2%を占め、「どちらともいえない」が4.8%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、尋ねれば応えてくれるなどの声が聞かれました。					
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	36	3	0	3	0
この項目では、36人が「はい」と答え、全体の85.7%を占め、「どちらともいえない」が7.1%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、不満については対応してくれますなどの声が聞かれました。					
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられないか	32	5	0	0	5
この項目では、32人が「はい」と答え、全体の76.2%を占め、「どちらともいえない」が11.9%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、聞いたら色々な情報を教えてくれると思うなどの声が聞かれました。					

## I 組織マネジメント項目（カテゴリー1～5）

## No. 共通評価項目

1 リーダーシップと意思決定	カテゴリー1
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー1(1-1) 標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針などを)を周知している	評点(○○)
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 事業所が目標していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が目標していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	評点(○○)
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/> 非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	評点(○○○)
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えておりを通じて、園で大切にしている事などイメージが出来るように丁寧に説明しています。 <input type="radio"/> 非該当
	カテゴリー1の講評
	理念や目標等は、保育実践と連動させて説明をするなど、職員の理解を深めています。法人理念や方針、保育目標等は、マニュアルや事業計画、入園のしおり等への記載、ホームページへの掲載などにより職員や保護者等へ幅広く周知しています。マニュアルは、全職員に配付し、一つでも確認できるようにしています。また、職員には、職員採用時の説明や、日常を通じて園長・主任が具体的に保育実践と連動させて話をするなど、理解が深まるように取り組んでいます。保護者には、入園説明会や園だよりを通じて、園で大切にしている事などイメージが出来るように丁寧に説明しています。
	経営層は、社会や政治の現状を把握し、大きな視点で方向性や道筋を示しています。経営層の役割や責任は、組織図等で組織体制が明示されています。また、保育園の人事方針では、施設長や施設長補佐、主任等の役割や責任等の求められる姿が示されています。会議では、運営の方向性を示し、職員間の共通理解を図っています。さらに、経営層は、目まぐるしく動く社会や政治状況の情報を収集・分析し、現場だけでなく、大きい視点での方向性や道筋を示すよう心がけ、役割と責任に基づき、リーダーシップを発揮しています。
	各種会議を設定し、会議の検討を踏まえ、法人への裏議書の提出を経て決定しています。会議体系は、職員会議、フロア会議(乳児・幼児)、リーダー会議、クラス会議、給食会議等が設定され、会議計画で実施が定められています。また、それぞれの会議での検討を踏まえ、法人への裏議書の提出、決定の手順となっています。決定内容や経緯等は、会議での報告を基本とし、会議不参加者には会議録の閲覧・確認や口頭での報告などで周知しています。非常勤職員等には、リーダーからの口頭による伝達等で周知しています。保護者には、園だよりや文書の配付、園内掲示等により周知しています。

2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリーアーク(2-1)		サブカテゴリーアーク(2-2)	
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評価項目2 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	
評価	標準項目	評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかげにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかげにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している
◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している
◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している
◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している
◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している
◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している
評価	標準項目	評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている
評価	標準項目	評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)、目標、達成度合いを測る指標を明示している	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)、目標、達成度合いを測る指標を明示している
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直ししながら取り組んでいる	◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直ししながら取り組んでいる
評価	標準項目	評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 事業所の意向は、行事後のアンケート、第三者評価受取特集の利用者調査などにより、積極的に園から働きかけて情報を収集しています。職員の意向は、年1回および収集した意見や要望等は、集計、とりまとめを行い、内容の把握・検討して利用者ニーズに対応しています。また、子どもや子育て会議への参加、地域活動事業の参加者や園見学者等を通じて、地域の情報を収集しています。さらに、各種協議会に参加し、福祉事業全体の動向を把握しています。	◎あり ○なし	1. 事業所の意向は、行事後のアンケート、第三者評価受取特集の利用者調査などにより、積極的に園から働きかけて情報を収集しています。職員の意向は、年1回および収集した意見や要望等は、集計、とりまとめを行い、内容の把握・検討して利用者ニーズに対応しています。また、子どもや子育て会議への参加、園運営の方向性が明確化されています。また、新園舎での保育を軌道に乗せることを最重点課題とした事業計画(令和元年度)が作成され、園運営の方向性が明確化されています。また、年間指導計画や行事計画、防災計画、研修計画等が作成され、担当者がそれぞれ計画性をもつて取り組んでいます。さらに、事業計画に基づく予算案が年度毎に作成され、確認を行なながら実行がなされています。
評価	標準項目	評価	標準項目
◎あり ○なし	行事アンケートや利用者調査等で意向を把握し、利用者ニーズに対応しています	◎あり ○なし	行事アンケートや利用者調査等で意向を把握し、利用者ニーズに対応しています
◎あり ○なし	利用者の意向は、行事後のアンケート、第三者評価受取特集の利用者調査などにより、積極的に園から働きかけて情報を収集しています。職員の意向は、年1回および収集した意見や要望等は、集計、とりまとめを行い、内容の把握・検討して利用者ニーズに対応しています。また、子どもや子育て会議への参加、地域活動事業の参加者や園見学者等を通じて、地域の情報を収集しています。さらに、各種協議会に参加し、福祉事業全体の動向を把握しています。	◎あり ○なし	利用者の意向は、行事後のアンケート、第三者評価受取特集の利用者調査などにより、積極的に園から働きかけて情報を収集しています。職員の意向は、年1回および収集した意見や要望等は、集計、とりまとめを行い、内容の把握・検討して利用者ニーズに対応しています。また、子どもや子育て会議への参加、園運営の方向性が明確化されています。また、新園舎での保育を軌道に乗せることを最重点課題とした事業計画(令和元年度)が作成され、園運営の方向性が明確化されています。また、年間指導計画や行事計画、防災計画、研修計画等が作成され、担当者がそれぞれ計画性をもつて取り組んでいます。さらに、事業計画に基づく予算案が年度毎に作成され、確認を行なながら実行がなされています。

中期計画および単年度計画を作成し、園運営における方向性を示しています  
法人として、理念・方針の実現に向けた平成28年度から令和2年度までの中期計画(5ヶ年)が策定され、保育園の方向性が示されています。  
計画の推進に向けて、行事等の短期的な活動では、担当者を中心におこなわれ、職員会議等で全体の評価、反省が行われています。日常保育では、年間および月間指導計画に基づき、定期的に評価・反省・見直しが行なわれています。また、単年度の事業計画では、項目に従い、計画の推進・実行が図られ、年度末の評価・反省により達成状況を把握し、事業報告書が作成されています。

各種計画の推進および実行に向けて、評価・振り返りを行なながら取り組んでいます

## 3 経営における社会的責任

## カテゴリー3

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー1(3-1)	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2／2
<b>評価項目1</b> 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる				
評価	標準項目	評点(○○)		
◎あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当		
◎あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している	<input type="radio"/> 非該当		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー2(3-2)	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4／4	
<b>評価項目1</b> 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている				
評価	標準項目	評点(○○)		
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を重複なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当		
◎あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当		
虐待に対する組織的な防止対策と対応をしている	サブカテゴリー2	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	評点(○○)	
<b>評価項目1</b> 虐待に対する組織的な防止対策と対応をしている				
評価	標準項目	評点(○○)		
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけないような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当		
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリー3(3-3)	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5	
<b>評価項目1</b> 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる				
評価	標準項目	評点(○○)		
◎あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当		
◎あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当		

**評価項目2**  
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評点(○○○)

評価		標準項目
◎あり	○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている
◎あり	○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している
◎あり	○なし	3. 地域ネットワーク内の共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる
<b>カテゴリー3の講評</b>		
<p>意見・要望を把握した場合は、苦情解決制度に基づき適切な対応を心がけています</p> <p>保育に従事する職員として守るべき規範、倫理等は、就業規則、マニュアル等に明示され、日常保育を通じて心がけられています。また、事業所修習や外部研修受講後の報告等の機会を通じて、職員の周知が図られています。「苦情解決委員会」が設置されており、外部の第三者委員へ申し立てができることが、事業計画書や入園時の資料に明示されています。また、入園面接時等に説明しています。利用者の意見・要望等を把握した場合には、苦情解決制度に従い、解決に向けた話し合い・検討を行い、組織として適切な対応に努めています。</p> <p>虐待に対して会議での振り返りや学ぶ機会を設け、防止対策に取り組んでいます</p> <p>子どもの気持ちを傷つけない取り組みとして、必要に応じて会議で確認し、職員間で振り返りを行っています。虐待等の発見や情報を得た場合には、マニュアルに關係機関とのネットワークが示され、必要に応じて連携が取られる体制を整えています。地域社会に対する透明性の確保に努めています。また、ホームページを活用して第三者的評価の受審、結果公表を行い、定期的に外部評価の専門性による透明性の確保に努めています。</p> <p>地域のネットワークに参加し、共通課題に対して協働できる体制を整えています</p> <p>ボランティアや実習生、中学校・高校等の職場体験には、主任が担当者どなり受け入れ体制を整えています。受入九の際には、体制裏で体制を整え、確認事項等の文書を作成し、事前のオリエンテーションによる持ち物や注意事項等の説明をしています。地域の子育て支援として、公私立園長会、要保護児童協議会など、関係機関のネットワークに参加し、共通課題に対して協働できる体制を整えています。</p>		
<p>4 リスクマネジメント</p> <p>リスクマネジメントに計画的に取り組んでいます</p>		
<p>評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる</p> <p>評点(○○○○○)</p>		
評価		標準項目
◎あり	○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている
◎あり	○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクにに対し必要な対策をとっている
◎あり	○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している
◎あり	○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるよう取り組んでいる
◎あり	○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる

## サブカテゴリーアーク(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリーアーク(4-2)  
標準項目実施状況

4／4

評価項目1  
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(○○○○)

		標準項目
評価		
◎あり	○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている
◎あり	○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している
◎あり	○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている
◎あり	○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している

## カテゴリー4の諸評

リスクに対して、マニュアル整備や避難訓練実施、季節毎の対応などに取り組んでいます。園運営におけるリスクに対しても、安全衛生会議やリスクマネジメント会議では、常勤・非常勤職員全員が参加し、園のリスクへの検討・対策が話し合われています。毎月実施されている避難訓練では、様々な場面が想定され、毎回実施される法人全体の防災訓練や消防による通報訓練、職員の危機管理意識の向上に取り組んでいます。また、年4回実施される法人全体の防災訓練や消防による通報訓練、職員の危機管理意識の向上に取り組んでいます。また、ブルースター期前の安全点検、夏季の終中症対策、冬季の終中症対策、季節に応じた危機管理の取り組みもなされています。

事業継続計画が策定され、大規模災害発生後の再開に向けた対応が計画されています。大規模災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備えて、保育園事業継続計画(BCP)が策定されています。BCPでは、初動対応、事業を通じての情報収集と対応、災害直後の対応、重要な業務の継続、実施するために必要な連絡先など、災害後の一連の手順が記載されています。また、BCPについても、年4回実施される法人全体の防災訓練や消防による通報訓練、職員の危機管理意識の向上などに取り組んでいくことが期待されます。再発防止対策では、事故やヒヤリハットの事例検討、集計による要因分析・検証を行っています。

情報に関する保管、管理、利用等を明確にし、適切な対応がなされています。園運営に関する重要な文書等は、鍵のかかる書庫でファイル化により管理・保管され、文書保存年限に則り、必要に応じて最新の状態になるよう更新されています。園内はネットワークが構築されており、データ化された個人情報等は、クラウドサービス等によるセキュリティ管理がなされています。パソコンについて、使用規定期間が定められており、遵守事項や禁止事項、電子データの記録媒体の管理、システム管理者の設置、管理者の職務等を明確化し、適切な管理・運用がなされています。

## 5 職員と組織の能力向上

		標準項目
評価		
◎あり	○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している
◎あり	○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる

評価項目1  
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

		標準項目
評価		
◎あり	○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている
◎あり	○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している

## 評点(○○)

		標準項目
評価		
◎あり	○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている
◎あり	○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた长期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している

**評価項目3  
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる**

評点(○○○○)

評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している
◎あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している
◎あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている

**評価項目4  
職員の意欲向上に取り組んでいる**

評点(○○○○)

評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進、昇格など)称賛などを連動させている
◎あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる
◎あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる
◎あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている

**評価項目1  
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる**

評点(○○○)

評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている
◎あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる

**カテゴリー5の講評**

職員の意向を把握し、経験年数や園全体のバランスを考えた人員配置に努めています  
職員の採用については、事業所毎で求人・募集を行い、保育園での一次面接、法人での2次面接を経て、必要な人材の確保に努めています。園での人員配置は、年1回の職員面接やチャレンジシート(育成計画シート)を通して、本人の意向を把握した上で、園全体のバランスを考慮して適材適所に配置しています。園での長期展望(キャリアパス)は、人事方針が整備され、キャリアアップ研修への参加等がなされています。今後はさらに、園での求める職員像を明確化し、職員への周知や理解を促進していくことも期待されます。

職員一人ひとりの目標設定に基づく研修計画を作成し、能力向上に取り組んでいます  
人材の育成については、年間の研修計画が作成され、法人や職場、外部等の研修に参加しています。研修参加後は、報告書の提出により職員の資質と能力の向上による育成がなされています。また、職員のチャレンジシートに基づき、職員面接で振り返り、育成の成果の確認と次期の計画への反映に活かしています。新入職員に対しては、園長・主任による指導や、OJTによる学びなど、育成に取り組んでいます。

各クラスやフロアの会議を通じて、気づきや工夫について共有化がなされています  
職員の育成・評価と処遇については、就業規則に基づき行われ、給与規程や表彰制度等を設けています。就業状況は、職員の状態を把握し、職員一人ひとりの希望を踏まえて勤務表による管理がなされています。職員が受講した研修については、研修報告や資料の閲覧、職員会議での発表等により、職員間の共有化を図っています。また、園内研修では、保育実践に関するテーマを設定し、組織としての学びと能力向上を図っています。

## 7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

カテゴリー7	
事業所の重要課題に対する組織的な活動	サブカテゴリー1(7-1) 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている
評価項目 事業所の理念・基本方針の実現を図る上で的重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）</p> <p>保育園を利用する希望者から地域で選ばれる優先順位の高い保育園になるため、園舎の建て替えを目標設定し、計画を立てています。具体的には、新園舎の図面、備品、保管内容等を検討するのに、リーダー層の会議を新たに設け、集中的に取り組みました。取り組みの達成が図られました。取り組み結果の検証では、新園舎の完成に伴い、マニュアルの見直し等、検討しなかった点等を次年度の計画に反映しています。</p>

目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li><li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li><li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li></ul>
取り組みの検証	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li><li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていないかった（目標設定を行っていないかった場合も含む）</li><li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li></ul>
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li><li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li><li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li></ul>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園舎の建て替えという重要な課題と目標の設定がなされています。設定した目標に対して、リーダー会議を新たに設けて、集中的に取り組むなど、計画の着実な実行が図られています。また、年度内に新園舎が完成するなど、設定した目標の達成が図られています。さらに、新園舎の完成に伴い課題として抽出されたマニュアルの見直しなどについて、次年度の計画に反映させています。PDCAサイクルに沿った取り組みがなされています。

## 評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上で重要な課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

## 前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

新園舎の完成を含めて新たに人材の確保が必要という課題に対して、職員採用による必要な人材確保を目標に設定して、計画を立てています。具体的には、募集資料の書き方の工夫、初年度からの有給休暇取得の確保、病欠休暇制度などのPRに取り組みました。また、採用のための資料作成や広報活動、就職フェアへの参加などに取り組みました。取り組みでは、十分な応募や採用が得られず、目標設定した必要な人材の確保に向けた努力ができませんでした。一方で、次年度において、紹介(口コミ)等により計画的な取り組みとは違う形での必要な人材の確保がなされる結果となっています。取り組み結果の検証では、次年度に反映させて取り組んでもいく予定であった目標が、具体的な計画の策定や実行の前に一部達成することができました。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けて取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けて取り組みについて、検証を行っていないかった(目標設定を行っていないかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

## 評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する説明

必要な人材の確保という目標の設定がなされています。設定した目標の着実な実行が図られています。また、年度内に必要な人材の確保という目標を達成することはできなかったものの、参加など、計画の着実な実行が図られています。一方で、次年度における目標の一歩達成がなされました。取り組み結果から、計画的なくなり組み込みの中では、取り組み結果(C)と結果の検証(A)にさらなる検討がみられます。PDCAサイクルに沿った取り組みとなっています。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No.	共通評価項目	
No.	評価項目	サブカテゴリー
1	サービス情報の提供 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	サブカテゴリー1 サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4／4

評点(○○○○)

評価	標準項目	評価
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
○非該当		

## サブカテゴリー1の講評

園の公式ホームページにおいて、園の詳細を掲載しています。区のホームページ内には、保育園の基本情報（所在地・電話・交通機関・定員・園の特徴と周辺環境・相談お問い合わせ・周辺地図など）がパンフレットに発信されています。園の詳細はホームページに概要や園の生活、園からのお知らせ、アルバム、情報公開などの情報が得られるようになります。また、区の保育課の窓口では保育施設の利用申込みをされる方向けの案内冊子「保育施設利用のご案内」が配備され、希望者へ配布しているほか、区のホームページからもダウンロード出来るようになっています。

新園舎開設に伴い、利用定員の増強および一時預かり事業の開始準備を進めています。当園の特徴は、法人が運営するいくつもの福祉施設が同じ敷地内に併設されており、地域の拠点となることがあります。昨年、園舎は築40年を超え、目黒区内の民間保育園では一番古い園舎となりました。昨今では特に、2歳児の需要が高いため、園舎を新たに建て替えることが決まり、今年の4月から新園舎での保育が開始されました。1、2歳児を中心とした定員を70名から78名に増しましたほか、要望の多い一時預かり事業を新規で立ち上げ、職員の体制等の目途が付きました。

## 見学希望者には希望する日程を調整し、随時個別に対応しています

見学希望者は随時受付け、1回に1組で日時は保護者の要望に応じて行っています。また、当日でも受けが可能であれば柔軟に対応しています。施設見学の時間は、子どもが遊びや活動をしている様子を見ることが出来るよう午前10時頃と午後15時過ぎを設定しています。なお見学の際には、主に主任保育士が対応し、パンフレットに沿って園内を案内しています。施設の見学に留まらず、保育内容やアルギーへの対応、食事内容、体調不良時の対応などに関する見学者の質問にも丁寧に答えるようにしています。

2 サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー2	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6／6
------------------	----------	-----------------------	-----

#### 評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評価	標準項目	評点(○○○)
◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

#### 評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評価	標準項目	評点(○○○)
◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもとの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当

#### サブカテゴリー2の講評

サービスの開始にあたり、重要事項や基本的ルールは入園面接等で説明しています  
入園面接では、事前に入園内定者へ送付した書類に記入してもらい、保育園生活を送るために基本的ルールや個人情報保護についてオリエンテーション資料に基づいて説明し、保護者へ同意を得ています。面接は保育は担任、保健は看護師、給食は栄養士、全体を園長・主任がそれぞれの立場で分担し、1対1で子どもの様子や保護者の意見を聞きながら面接シートに記録しています。保護者が記入した書類を確認しながら内容に漏れがないよう「面接チェックリスト」を用いて項目を確認しながら保護者に伝えています。

入園当初は、入園前の生活を考慮しながら個別状況に応じた受入れを行っています

入園当初にあたっては、新しい環境によるストレスや不安を軽減するために時間を探出し、徐々に保育時間を長くしていくなどの「慣れ保育」を初日から3日間行っています。保護者の就労状況で「慣れ保育」が出来ない場合には、保護者と担任で相談し、柔軟に対応しています。このように家庭のリズムに合わせながら、子どもが安心して新しい環境に慣れていくよう、また、保護者にも子どもたちの日々の状況や出来事を伝えていきながら、安心して園に預けることができるように取り組んでいます。

退園後も、支援の継続性に配慮して支援を行っています

退園中の途中での転園や退園する子どもには、クラス毎に担任が工夫をしながら手作りのメモセージカードや写真などをプレゼントしています。年長児の就学に向けた取り組みでは、小学校での体験給食や行事(展示会)への参加のほか、「1年生の授業参観に行ったりして積極的な交流を図っています。卒園・退園後も、保護者の育儿に関する不安や心配事などについてでも相談できることを手紙にして保護者へ伝えています。卒園時には保育要録を作成し、就学先の小学校へ提出して就学への継続に努めています。

3 個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー-3 サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12／12		
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(○○○)		
<b>評価項目2</b> 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(○○○○○)		
評価	標準項目	評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	◎非該当	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護・生命の保護・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	◎非該当
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	◎非該当	2. 指導計画は、子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	◎非該当
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	◎非該当	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもとの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	◎非該当
<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(○○)		
評価	標準項目	評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	◎非該当	1. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもたちの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	◎非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもたちの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	◎非該当	<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	
評価	標準項目	評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	◎非該当	1. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	◎非該当
◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	◎非該当		

### サブカテゴリーアートの講評

子どもに関する情報は保育日誌や連絡ノートに記載し、児童票に集約されています。日々の子どもに関する情報は、児童票や保育日誌など統一した書式によってパソコンに入力し、記録しています。子どもの成長については児童票の発達に応じたシートを用いて経過に応じて0～2歳児と3歳児とに子どもたちの様子をパソコンに入力し記録しています。家庭とのコミュニケーションツールとして用いている連絡ノートは5歳児まであり、0～2歳児までは子どもたちの様子を毎日記入し、3歳以上は一度以上は子どもに関するエピソードを記入して子どもたちの園での様子を保護者へ伝えています。

全体的な計画に基づき、年間指導計画および月間指導計画を作成しています。

全体的な計画に示した養護と教育の各項目を基に、それぞれの年齢の年間、期に照らし合わせながら年間指導計画および月案を作成しています。個別指導計画(は子ども一人ひとりの状況に応じて0～2歳児と3歳児とに子どもたちの様子や状況を踏まえて作成し、評価チェックとヒントで用いています。保育者会や個別面談等では子どもたちの園での様子を分析し、年間指導計画は年度初めの懇談会で保護者へ配布して具体的な説明を行っています。保護者会や個別面談等では子どもたちの成長の様子を分かり易く伝えています。

子どもや保護者の状況等は会議やクラスごとの引継ぎノートで情報を共有しています。申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合は、フロア会議の他、乳・幼児会議等で報告し、クラスごとの引継ぎノートを使って職員間で速やかに情報を共有するようにしています。健康面や生活状況の変化・変更のみに留まらず、子どもや保護者の不安定な姿が見られた時には、速やかに主任へ報告し、その後職員間でも共有しています。小さな変化も見逃さないように努めています。

### 5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評価		標準項目		標準項目	
◎あり	○なし	1. 子どもにに関する情報(事項)を外部とやり取りする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている		○非該当	
◎あり	○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当	
◎あり	○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向け、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当	
サブカテゴリーアートの講評		評価		評価	

子どものプライバシー保護に努めています。子どもに関する情報を外部とやり取りする場合には、その都度保護者へ確認を得ています。園での個人情報等に関する取り扱いについては、入園時にオリエンテーション資料の中で利用目的、開示方法、写真やビデオ撮影などから記載されており、個人情報の取り扱いについて説明していますが、保護者には口頭での確認のみとなっています。今後はより丁寧に書面での同意確認を取などの検討が望れます。

子どもの羞恥心に配慮した支援を行っています。オムツ交換時や着替えの時には、カーテンや仕切りを活用する他、上下を分けて着替えるように指導しています。プールや水遊びにおいては、着替えの際にはラップタオルを使用し、外観から直接見えないように目隠しを設置しています。今年度から4歳児以上の子流しの際には、ハンジツを履いたままシャワーを浴びるようにしました。子ども自身にも羞恥心が自然な形で理解できるよう、裸でいることの恥しさを教えるため、今後はより隠さなくてはいけないことを、4・5歳児を対象に保健指導(プライベートゾーンの話)の中で子ども達に分かり易く説明しています。

虐待に関することは、区や関係機関と連携を取りながら対応しています。日頃から、子どもの変化や保護者の様子等で気が付いたことや気になることは、保育日誌に記録しています。職員が虐待防止や育児困難家庭への支援などの研修に参加した際には職員会議の中で報告し、他の職員とも共有しています。園内で虐待した場合は、マニュアルに沿って対応し、園長・主任の判断のもと通告に至るまでの体制が整っています。万一、虐待が疑われるような場合には、区、子ども家庭支援センター、児童相談所などの関係機関に連絡し、助言をもらいながら速やかに情報共有を行っています。

6 事業所業務の標準化		サブカテゴリー6 標準項目実施状況	5／5
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(○○○)	
評価		標準項目	
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書)、手順書、マニュアル等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 職員は、わからぬことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(○○)	
評価		標準項目	
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもたちの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリー6の講評			
<p><b>各種マニュアルを整備しています</b></p> <p>園で活用するマニュアル類は、事業所に配備するほか職員一人ひとりに配付し、いつでも見られるようになります。「保育業務手帳」、「土曜保育、延長保育時のチェック項目、安全管理」、「虐待防止」等のマニュアルは、保育や業務の点検に活用しながらカリキュラム会議の場において、園長・主任が中心となって定期的に反省・見直しを行っています。</p> <p><b>主任保育士を中心に業務水準の点検・見直しが行われています</b></p> <p>園では、主任保育士を中心となって毎月のカリキュラム会議で指導計画を見直していく中で、保育についての振り返りや再検討がなされています。提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたっては、会議の中で職員の意見を聞き、取り入れるなどして気付いた点があれば改善を図りながら、園の目指す保育が実現できるように取り組まれています。</p>			

### III サービスの実施項目(カテゴリー6-4) サブカテゴリー4

サービスの実施項目	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	サブカテゴリー4 標準項目実施状況																				
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(○○○○○)	評点(○○○○○)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th>評価項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全般的な姿を把握したうえで保育を行っている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>4. 特別な医療が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとつて、援助している</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目	評価項目	◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全般的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	◎あり ○なし	4. 特別な医療が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	◎あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとつて、援助している	○非該当	<p>評価項目1の講評</p> <p>子どもの状態に応じ、一人ひとりについての計画を立てて保育しています      子どもの幸せを第一に考え保護者と協力して子どもを支える。子どもや保護者の思いや気持ちを受け止めて子どもたちの育ちを支えるという園の基本方針に沿い、入園時に、子どもとの状況や保護者の考え方を面接シートに記録し、指導計画を作成し、定期的に見直しています。計画は、全体的な計画、年間計画、月間計画、発達計画を立てています。主に担任が、子ども一人ひとりについて、様子や連絡帳、保護者との会話等から、全般的な様子を把握し、発達の状況や生活環境を考慮し、どのように保育していくかを会議等で話し合っています。</p> <p>継割り保育や様々な子どもとの生活で豊かな心を育む一方、小学校とも連携しています      幼児は、毎月3～4回、継割り保育を行い、年齢の異なる子ども達が触れ合うことで他の子どもを思いやる心を育んでいます。また、外国籍の子どもや、宗教食、アレルギー食、特別な配慮の必要な子ども等、様々な子ども等、年齢に合った環境づくりで豊かな心が育つようされています。一方で、年長児へは、小学校と連携し授業参観や行事参加等の継続的な支援をしています。</p> <p>子ども同士のトラブルでは、子どもの気持ちに寄り添つて対応しています      子ども同士のトラブルが起きた場合は、すぐにおこないます。また、担任のみに任せることではなく、その原因・理由を把握し、双方の子どもの気持ちを理解し、共感し、子どもに寄り添つてお応じています。また、職員同士で話し合い、園全体で援助しています。そして、保護者へは、話し合いの結果をもとに、トラブルについて説明しています。必要に応じ、カリキュラム会議での検討や、児童発達支援センターと連携するなどしています。ヒヤリハット報告、会議録、業務日誌、年間計画等を確認しました。</p>
評価	標準項目	評価項目																				
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全般的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当																				
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当																				
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当																				
◎あり ○なし	4. 特別な医療が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当																				
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当																				
◎あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとつて、援助している	○非該当																				

## 2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(○○○○)

評価		標準項目
◎あり	○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している  登園時には家庭での子どもの様子を連絡帳や直接見聞きして確認しています。体温も確認しています。降園時にも園での子どもの様子を連絡帳、直接会話などで保護者に提供しています。幼児クラスでは、毎日のクラス生活の様子を掲示しています。登園、降園のどちらの場合でも、職員同士は、口頭連絡と引継ぎノートを利用して、子どもたちの様子を共有し、毫不足気味の子どもには朝晩で補う、元気のない子どもは頻繁に様子を見るなど、一人ひとりの子どもが、生活のリズムを保ち、安定して暮らせるように支援しています。
◎あり	○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している  子ども一人ひとりの発達状況に配慮しながら生活習慣の自立に向けて支援しています  子どもは一人ひとりの発達状況が異なるので、その差に配慮し、衣服の脱ぎ着、スプーンや箸を使う、オムツからトレーニングパンツやトイレの使用への移行の時期など、食事や排泄、その他が強りでできるように、生活習慣の自立に向けて支援しています。また、家庭での取り組み内
◎あり	○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している  子ども一人ひとりの発達状況に配慮しながら生活習慣の自立に向けて支援しています  子どもは一人ひとりの発達状況が異なるので、その差に配慮し、衣服の脱ぎ着、スプーンや箸を使う、オムツからトレーニングパンツやトイ
◎あり	○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者へひとりに直接伝えている  保護者との連絡・情報交換を密にするために保育士の配置を工夫しています  保護者と保育士の間で、子どもの様子を密に連絡・情報交換できる様に保育士の配置を工夫しています。必要に応じて、主任が対応することもあります。登園時や降園時には、なるべくクラスの常勤職員が1名居て、保護者と直接、子どもたちの様子を話しかけるようになります。そのため、保育士の勤務体制が、「シーラン」になっています。このことから、子どもや保護者に対する園と保育士の思いの強さを感じられます。これは、「すべての人[に]心をよくして支援します」という、法人の基本理念に基づいた実践といえます。
評価項目2の詳評		

## 3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(○○○○○)

評価		標準項目
◎あ り	○な し	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている
◎あ り	○な し	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している
◎あ り	○な し	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している
◎あ り	○な し	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている
◎あ り	○な し	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じじとことができるような視点を取り入れている
◎あ り	○な し	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している

## 評価項目3の講評

自分で考えて行動できる子どもを保育目標にし、工夫しながら様々な支援をしています。園の方針「色々な体験を通して、子どもの良い處を伸ばす」、保育目標「自分で考えて行動できる子ども」を叶える様に、全体会議やクラス会議で話し合い、計画的に取り組んでいます。年齢や個別人別に、遊びの環境作りや園外活動、行事など、専門的・教育的な視点で、年間、月間の指導計画を立て、定期的に見直しします。さらに、子どもたちを大切にし、否定話を使わない声掛けの大切さを意識しながら、子どもが自分で自分で行動するのを見守っています。

のびのびと行動する一方、思いやりのある人間性豊かな子どもになるよう支援しています。園では、健康、人間関係、環境、言葉表現の5つの領域に分けて、子どもの成長を見守り、保護者の意向を反映させながら一人ひとりに合った支援計画をたてています。自分で工夫しながら遊べる様にコーナーを作る、集団に入れない子に声がけし仲間になるきっかけを作る、気持ちを言葉に表す手伝いをする、交通や遊び、生活のルールを守り安全に楽しく暮らす、表現遊びや行事に取り組み様々な裏方法を身につける、各種の行事や季節食材を用いた食事や散歩で季節の変化を感じる心を育むなど、思いやりのある人間性豊かな子どもになるよう支援しています。

安全で豊かな環境を活かし、戸外遊びを多く取り入れています。法人の施設がかかる所に集まっているため、園庭だけでなく、グループの他の施設のグラウンドや前庭を、一般道路を横切らずに利用できます。また、周囲には、樹木も多く、春は桜の花見、秋はモミジや銀杏の紅葉を見たり合って工作や焼き芋など季節の変化を感じられる豊かな環境です。さらに、近所には、児童遊園や線路の見える公園などもあり、安全に遊んだり運動できる場が豊富なので、子どもの年齢に応じた戸外遊びを、多く取り入れています。

## 4 評価項目4 日常の保育に変化と新しいを持たせるよう、行事等を実施している

評点(○○○)

評価		標準項目
◎あ り	○な し	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している
◎あ り	○な し	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している
◎あ り	○な し	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている

## 評価項目4の講評

行事を通じ、園の目標に沿った子育てが実践できる様に職員同士が話し合っています。園では、保育目標に、元気に遊べる、思いやりのある、自分で考えて行動できる、心身ともに健くなれる子どもを掲げています。日常の保育だけではなく、平坦な生活にならないがちなので、子どもにどうつて達成感のある出来事を位置づけています。担任任せにせず、行事ごとに、職員会議で、目標の達成に向けて内密や取り組み方を話し合つて決めています。また、お泊り保育、園外保育、夏まつり、運動会、芋掘り遠足、焼き芋、お月見団子作り、おたのしみ会、クリスマス、餅つき、節分、お店屋さんごっこ、ひなまつりなどがあります。

行事では、子どもは話し合いでの役割を決めて準備するなど、積極的に取り組んでいます。子どもたちは、行事には、どんなことや物事が必要かなどを話し合い、役割を決めて準備したり、練習するなど、積極的に取り組んでいます。例えば、お店屋さんごっこでは、何のお店をするのか、それにはどのような商品を売るのか、並べかたはどうするのか、様々な事を考え、意見を出し合い、話し合い、決めています。しかしながら、保護者アンケートを実施し、保護者の意見を次回の機会に反映させるようにしています。また、法人のクラウドを使用できます。そのため、法人のクラウドを活用して練習していきます。

園の方針に沿い、保護者の理解と協力を得て子育てができる様、職員が話し合っています。色々な体験を通して、子どもの良い處を伸ばす、保護者とより良い協力関係を築きながら子どもたちの育ちを支援するなど、行事を通じ、園の方針に沿った子育てが実現できる様に職員同士が話し合っています。そのため、行事ごとに、保護者アンケートを実施し、保護者には、様々な勤務形態の方が多いことから、行事の開催日は平日が良いという方、土日が良いという方、それぞれで意見が異なっており、調整に苦慮しています。

## 5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(○○)

評価		標準項目	
◎あり	○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
◎あり	○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目5の講評

特に、朝夕は、子どもが落ち着いて過ごせるように配慮しています。保育時間は、標準で7時15分から18時15分まで、最も遅い場合は19時15分まで延長できます。実際の延長保育利用は、1日6人前後です。一方、時短の場合には、9時から17時です。登園時、降園時は、クラスへの子どもどもが頻繁に出入りがあります。9時30分までと16時30分以降の保育は、クラスを0才児、1、2才児、幼児に分けています。こうすることと、子どもなりに登園・降園と普通に生活する時間との区別がつき、落ちています。また、それでも、なかなか落ち着かない子どもに対しては職員が手厚く対応しています。

子どもたちを全職員が把握し、楽しく過ごせる様に配慮しています。全体会議、フロア会議での報告、その場での口頭引継ぎ、クラス別引継ぎノート等を活用し、担任以外でも、一人ひとりの子どもの様子を全職員が把握し、必要な配慮を出来る様にして、保育時間が長い場合には、保護者に確認し、子どもが安全に楽しく過ごせる様に配慮しています。また、保護者による、登園・降園時間の急な変更には、柔軟に対応しています。

## お迎え代行の利用もあり、保護者の事情と安全に配慮しています

保護者の就業形態などの事情から、保護者以外による登園・降園の代行もあります。祖父母や、ベビーシッターなど、予め登録している場合は、保護者の「お迎え代行書」による手続を確認し、そうでない場合には、保護者と確認し、職員が情報を共有し、対応しています。特に、登園の際は、事故にならぬように、子どもの安全に配慮し、気を付けて、厳密に対応しています。

## 6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(○○○)

評価		標準項目	
◎あり	○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をどれよくな雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
◎あり	○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
◎あり	○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
◎あり	○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目6の講評

子どもたちが楽しく、落ち着いて食事をどれよくな雰囲気作りに配慮しています。1. 2才児は、午睡の部屋と、食事の部屋を分け、落ち着いて食事出来る様に配慮しています。1才児は、保育士と3対1で食事出来る職員体制にしています。幼児は、ホールでは、3クラス一組に、配慮の必要な子に働きかけしながら、子どもの発達段階に合わせた食事環境を工夫し提供しています。また、幼児では、自分の食べる量を自分で決めて自分で自分でとりわけなるなど、自分で考え行動出来る様に育てています。

季節ごとの食材、食材の栽培、食べ方指導などを通し、感謝の心とマナーを育んでいます

幼児は、さやから空豆出し、トウモロコシ皮むき、カボチャの種取、里芋洗い、玉ねぎの皮むき、サツマ芋やカボチャの茶巾絞り、ラップでおにぎり、クッキー作り、お月見団子作り、大根をはじめ各種野菜の種まきと収穫、その他、季節ごとの食材に触れ、食べ方指導などを通し、食に対する感謝の心とマナーを育んでいます。また、お花見ランチ、あじさいゼリー、おはぎ、さんま、七草がゆ、七夕、クリスマス、節分、ひな祭り、誕生会など、季節や行事に合わせたメニューを取り入れて感性豊かな食事を提供し食への興味を育んでいます。

離乳食進行状況、アレルギー指導票、配慮食履などを活用し、子どもに配慮しています  
0才児については、離乳食会議を基本的に週1回行い、離乳食進行状況一覧を基に、安全な食事を提供しています。また、食材の放射線量測定をし、安全を確認し提供しています。アレルギー児については、医師からアレルギー指⽰書をもらい、保護者、栄養士、看護師、担任で面談し、配慮食の内容を決め提供しています。さらに、宗教や体調に配慮した食事の提供もしています。いずれも、配慮食履に内容を記載して、ミスの無いようにしています。

7 評価項目7  
子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(○○○)

標準項目	
評価	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できている <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし
	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし
	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康新維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている <input type="radio"/> あり ○なし

評価項目7の講評

子どもが自分で健康管理や安全管理ができるようになることを目指して指導しています  
子どもが自分で健康管理ができるようになることを目指しています。保健計画を立て、1歳以上は歯磨き、手洗いなど、子どもの年齢に応じた健康新維持のための行動をしています。また、手洗いの仕方を看護師が指導し、良く汚れを落とす練習をするなどしています。交通安全については、年1回、区主催の交通安全教室の指導を受けています。

医療的なケアの必要な子どもについては、薬品を預かり、対応しています  
医療的なケアの必要な子どもについては、主治医、園の看護師や園医が職員と連携して対応しています。薬品を預かり、投薬する対応もあります。ただし、その場合には、医師による投薬指示書、その他、園で定める書類の提出が必要です。また、アレルギー時に用いるアナフィラキシー補助治療剤を預ける場合は、園のガイドラインを基に、その都度、主治医と連携し、その子どもにも最適な取扱マニュアルを整備し、対応しています。

毎月、保護者向けに保健だよりを発行するなど、子どもの健康を保つ様に取組んでいます

スポーツ教室、散歩、遠足、運動会など、子どもたちの体力づくりに力を入れています。プール前に全園児が内科、眼科、耳鼻科の健診を受け、プール期間にはプールカードで体調を把握しています。また、毎月、保護者に向けて、感染症の情報や、季節の食事、スポーツなど、健康維持に役立つ情報を載せた「保健だより」を発行しています。予防注射実施予定期報を掲示しています。一方、園内で感染症が発生した場合は、感染症名、クラス別罹患人數など、発生情報を事務室前に毎日掲示し、保護者に注意を促すなど、協力して子どもの健康を保つ様に取組んでいます。

8 評価項目8  
保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(○○○○○)

標準項目	
評価	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし
	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし
	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし
	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし <input type="radio"/> あり ○なし
	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している <input type="radio"/> あり ○なし

評価項目8の講評

クラス懇談会や個人面談を通して保護者との信頼関係を深める取り組みを行っています  
保護者との信頼関係を深める取り組みとして、クラス懇談会を年2回、個人面談を年1回金員ど行っています。またこれに限らず、必要な時には随時時間をとり、面談を行うなど保護者と必要なコミュニケーションをとっています。また当園では、家庭との連絡ノートを用意しています。幼稚園にも取り入れており、0～2歳児までは子どもたちの様子を毎日記入し、3歳以上は週一回以上、子どもにも関わるエピソードを記入するなどして園での子どもたちの様子を保護者へ伝えています。

子育てや就労状況に応じて保護者に配慮した支援を行っています

保護者の子育てや就労状況に配慮した支援を行うために、入園前の個別面接の他、朝夕の送迎時の会話や連絡ノートなどから個別状況を把握し、保護者が子育てと就労が両立できるように支援をしています。延長保育は原則、事前に利用登録が必要ですが、保護者の急な事情や授業などによってお迎え時間に間に合わない場合には誰でも利用できるように柔軟に対応しています。

職員は研修やマニュアルを通じて、保護者に対する相談援助の基本的姿勢を学んでいます  
職員は、研修を通じて、保護者に対する相談援助の基本的姿勢や、手法について学びを深めています。日々の連絡ノート、朝夕の挨拶に一貫をプラスしたり、普段ながらかコミュニケーションが取れない保護者には、積極的に話しかける等、職員と保護者の信頼関係の構築を図っています。入園時や年度の切り替え時期には、子育てに関する保護者からの価値観や要望、個々の事情について確認とともに、児童票に記録し、職員間で情報を共有しています。

## 9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(○○)

		標準項目	
評価	評価	評価項目9の講評	
◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当	
◎あり ○なし	2. 地域の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当	

地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を設けています。地域の方と交流する機会は、近隣の中学生や高校生の體験体験の他、外部講師による体操教室や4、5歳児の絵画教室などがあります。同じ敷地内にある法人者が運営する高齢者施設や学童クラブとの交流、敬老訪問や七夕交流、学童まつりなど)は年間で計画・定番化し、異世代交流を図っています。また、騎馬隊による交通安全教室や消防署協力のもと行われる起震車体験などの防災学習も行っています。このように地域の資源を活用しながら、子どもが多様な体験や交流が出来るような機会を設けています。

子どもが職員以外の人と交流できる機会を設けています。子どもが職員以外の人と交流できる機会として、小学校の行事に参加したり、近隣の保育園と一緒に行う「運動会ごっこ」などの交流を行っています。この交流が始まつたきっかけは目黒区の園長会の場で声が挙がり、保育園の持ち回りで会場を決めてやってみようと思うと取り組み始めたものでした。園で行われる年一回のコンサートには同じ敷地内にある高齢者施設の方を招待したり、人形劇団による観劇会には近隣の公立保育園に声をかけて招待するなどして、園の行事に地域の人の参加を呼びかけ、子どもが職員以外の人と交流できる機会を設けています。

評価項目	評価項目	事業者が特に力を入れている取り組み①
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせよう、行事等を実施している
タイトル①	内容①	<p>行事を通じ、園の目標に沿った子育てが実践できる様に職員同士が話し合っています</p> <p>園では、保育目標に、元気に遊べる、思いやりのある、自分で考えて行動できる、心身ともに健やかな子どもを掲げています。日常の保育だけではなく、平坦な生活になりがちなので、変化を持たせ、子どもにとって達成感のある出来事として行事を位置づけ、職員会議で、目標の達成に向け、内容や取り組みの方を話し合って決めています。一方、子どもも、行事には必要なことや物を話し合い、役割を決め、準備や練習に積極的に取り組んでいます。</p>

評価項目	評価項目	事業者が特に力を入れている取り組み②
評価項目	6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している
タイトル②	内容②	<p>新園舎開設に伴い利用定員の増強および一時預かり事業の開始準備を進めています</p> <p>当園の特徴は、法人が運営するいくつもの福祉施設が同じ敷地内に併設されており、地域の拠点の場となっていることが挙げられます。一昨年、園舎は築40年を超えて、目黒区内の民間保育園では一番古い園舎となりました。昨今では特に、2歳児の需要が高いため、園舎を新たに建て替えることが決まり、今年の4月から新園舎での保育が開始されました。1、2歳児を中心定員を70名から95名に増員したほか、要望の多い一時預かり事業を新規で立ち上げ、職員の体制等の目途が付き次第、順次受け入れを開始する予定があります。</p>

評価項目	評価項目	事業者が特に力を入れている取り組み③
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びヒームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	内容③	<p>各クラスやフロアの会議を通じて、気づきや工夫について共有化がなされています</p> <p>職員の育成・評価と処遇については、就業規則に基づき行われ、給与規程や表彰制度等を設けています。就業状況は、職員の状態を把握し、職員一人ひとりの希望を踏まえて勤務表による管理がなされています。職員や工夫については、フロア会議やクラス会議等の話し合いの場において互いに話し合いが行われています。職員が受講した研修については、研修報告や資料の閲覧、職員会議での発表等により、職員間の共有化を図っています。また、園内研修では、保育実践に関するテーマを設定し、組織としての学びと能力向上を図っています。</p>

No.	特に良いと思う点
1 内容	季節ごとの食材の利用、食べ方指導、行事食、環境整備などで、教育に取り組んでいます。园は、园の保育目標の実践などです。
2 内容	季節ごとの食材に触れる機会を提供したり、七草がゆ、誕生会など、季節や行事に合わせたメニューを提供し、食への興味を育む一方、自分の食べる物や量を自分で決めさせたり、配慮の必要な子に動きかけながら、園長、主任、調理員等もともに食事をし、マナーを身に付けたり、子どもとの差異段階に合わせて食事環境や職員体制を工夫したり、落ち着いて食事を楽しめる工夫をするなど、食育に取り組んでいます。これは、保育目標の、心身ともに健康な、元気遊べる、思いやりのある、自分で考えて行動できる子どもを実践しています。
3 内容	職員会議での話し合いや、法人施設の積極的活用が、園の掲げる保育目標の達成に効果を上げています。
1 内容	園の掲げる保育目標に沿つて、元気に遊べる、思いやりのある、自分で考えて行動できる、心身ともに健康な子どもを育てるにあたり、日常の保育を持たせ、子どもにもどつて達成感のある出来事として行事を位置づけて、職員会議で、目標の達成にむけ、内容や取り組み方を話し合って決めていますが、それは、子どもが、行事の実行に際し、様々なことに積極的に取り組んいることから、成果が表れています。また、運動会、交通安全教室、日常の運動、その他、法人グラウンドや法人の他の施設の活用で、保育効果を出していると思われます。
2 内容	地域資源を活用し、子どもが多様な体験や異世代交流などができる機会を設けています
3 内容	近隣の中学生や高校生の職場体験の他、外部講師による体操教室や絵画教室など、地域の方と交流する機会があります。同じ敷地内にある法人が運営する高齢者施設や学童クラブとの交流（敬老訪問や七夕交流、学童まつりなど）は年間で計画・定番化し、異世代交流を図っています。また、騎馬隊による交通安全教室や区役所の協力のもと行われる起震車体験などの防災学習も行っています。このように地域の資源を活用しながら、子どもが多様な体験や交流が出来るような機会を設けています。
No.	さらなる改善が望まれる点
1 内容	個人情報等の取り扱いに係る説明について、さらなる同意確認の工夫や検討が期待されます
2 内容	個人情報保護について法規に遵守しています。子どもに関する情報を外部どおり取り扱う場合には、その都度保護者へ確認を得ています。園での個人情報等に係る取り扱いについては、手書き記録、口頭伝達と、従来のまま、入園時にオリエンテーション資料の中で利用目的、開示方法、写真やビデオ撮影などが記載され、個人情報の取り扱いについて説明を行っていますが、保護者には口頭での確認のみとなっているため、今後はより丁寧に書面での同意確認を取ることの検討の余地が見られます。
3 内容	ITツールによる保育士の業務の軽減と情報の共有の効率化を図っていることから、今後はさらに実用化を進めいくことが期待されます
1 内容	園では、ITツールにより保育士の業務の軽減、情報の共有の効率化を図るために、保育士一人に1台のIT機器を配布しています。しかしながら、実用としては、手書き記録、口頭伝達と、従来のまま、十分に活用されていない現状が伺われます。現在では、世間一般的の幅広い年齢層で、携帯電話でのメール交換を頻繁に行つてることから、保育士のIT機器の操作への課題や問題は少ないと思われます。今後はさらに、積極的な活用に向けて取り組んでいくことが期待されます。
2 内容	行事では、園の方針に沿つて、保護者の理解と協力を得て子育てができる様に職員が話し合っています
3 内容	色々な体験を通じ、子どもの良い例を伸ばす、保護者とより良い協力関係を築きながら子どもたちを支援するという、園の方針に沿つた子育ての一環として、行事ごとに、保護者アンケートを実施しています。保護者の意見を次の機会に反映させるよう、職員会で話し合っていますが、保護者には、様々な勤務形態の方が居るので、行事の開催希望日は異なっており、調整に苦慮しています。今後はさらに、職員間での話し合いに加え、保護者を交えた話し合いを検討していくことが期待されます。